

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 大阪発達総合療育センター ゆうなぎ園

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	はい	出席人数、活動に応じて、部屋の使いう方を調整しています。	今後も利用児の状況に応じて安全に支援が受けられるよう、工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切である	はい	法令を遵守し、支援内容に応じて職員体制を工夫しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	はい	利用者の状況に応じて、情報伝達方法を配慮するようにしています。2階で階段利用のため、車いすバギーの方の安全に配慮しています。	2階のため車イスをご利用の方などは、職員が階段昇降を介助させていただいています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	はい	園内の清掃、感染対策の消毒を適時行っております。活動に応じて部屋環境を調整しています。	安全性を確認し、活動に応じた空間づくりをしています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	はい	支援は目標を設定し、実行し、振り返りを行っています。	振り返りにより、業務改善に至るまで職員全体で考える機会を作ります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	はい	評価表でいただいたご結果や、ご意見を事業所内で共有しています。	いただいたご意見を職員間で共有し、改善に努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	はい	評価結果は施設内に掲示し、法人のホームページにも掲載しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	いいえ		法人と相談していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	はい	法人全体、各部署、各職種でいろいろな研修を受講しています。	受講内容を職員間で共有し、支援の質を高めるために活かしていくように努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	はい	家族、関係機関からの情報収集を行い支援計画に反映させています。	子どもの発達や、環境の変化などに応じた支援計画の更新をタイムリーに行うように努めます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい	定期的に言語発達のアセスメントを実施しています。	社会生活能力の検査の導入を予定しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	はい	発達支援、家族支援、移行支援を柱とし、具体的な活動の支援計画を立てています。	引き続き発達支援、家族支援、移行支援を柱とし、個々の利用児に必要な活動計画の立案と支援の実践をめざします。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	はい	支援計画に沿いつつ、見直しも行いながら支援しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	はい		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	はい	子ども集団に応じて、活動内容の工夫をしています。	子どもの年齢に応じて多様な経験ができるよう、活動を提供していきます。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	はい	利用者のご希望とアセスメントから個別と集団の活動の利用を決めています。		

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	はい		効率よく打ち合わせや振り返りができるよう工夫していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	はい		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	はい	支援の記録を用いて、保護者とも共有しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	はい	定期的にモニタリングを実施しています。保護者のご希望、利用児の変化に応じて支援計画の見直しを行います。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	はい	会議の内容に適したものが参加しますが、参加できない場合も、個別担当者が報告、伝達を行うようにしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	はい	地域の担当保健師、主治医、機関病院の地域連携室、保育所、幼稚園、教育機関など子どもと関わる機関との連携に努めております。	さらに関係機関や事業所間との情報連携を進めていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	はい	移行支援として、在園中より移行先と連携を取り合い、具体的支援方法、リスク管理などを実際の場面で伝達しています。移行後は保護者からの希望に沿って、移行先への訪問により、さらに発達を促せるよう情報共有と相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	はい		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	はい	大阪府立福祉情報コミュニケーションセンターや、こめっこ、ひだまりMOEさんなどと連携をとっています。	引き続き、利用児の通う事業所や専門機関と連携を進めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	いいえ		当園で交流の機会はありませんが、ご家族の希望に沿って地域で子どもと交流できる場をご紹介など考えていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	はい	自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	はい	常に、保護者に説明し意見交換しあい、支援を行うようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	はい	保護者研修の機会を設けています。	保護者のニーズを把握し、交流の機会を作ります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	はい	契約にあたり、ご説明やご質問について個別での対応も行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	はい	家族の希望をお聞きし、アセスメントをもとに個別支援計画を立案し、保護者に説明し同意を得ています。	

	チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	はい	日頃から、保護者との対話時間を設け、相談していただきやすいようにしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	いいえ		ご利用形態の変化の中で、父母会の運営が難しくなっております。現状を見据え保護者の交流や連携を支援していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	はい	保護者からの相談があった際は、保護者の了解を得て職員間で共有するように努めています。	引き続き全職員が保護者のご相談に真摯に向き合い、報連相により迅速に対応し周知するよう努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	はい	メールや園だより・掲示物を活用し、発信しています。法人の広報誌にて、近況を掲載しています。	Instagram活用し、行事や支援の様子のタイムリーな発信に務めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	はい	写真の使用などは保護者の許可を得ています。個人情報は鍵のかかる場所に保管しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	はい	それぞれのコミュニケーション力に応じて手話や指文字なども用いています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	いいえ		地域住民との交流について企画していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	はい	避難訓練は年2回実施しています。月に1回、職員による防災訓練を行っています。	防災に関する保護者向け研修会も考えていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	はい		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	はい	入所時に服薬やアレルギーの有無、予防接種などの情報収集を行い、随時医師の指示に基づき看護師が対応しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	はい		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	はい	職員全体で共有するようしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	はい	法人内にて毎年研修を開催しております。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	はい	安全上必要な身体拘束については、個別支援計画に具体的に明記し、支援終了後に不適切な対応がなかったかを、保護者に説明し同意を得ています。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。